

趣意書

2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま 群翔 ～共に生き 共に踏み出そう～

主 催 一般財団法人 少林寺拳法連盟
主 管 群馬県少林寺拳法連盟

少林寺拳法は、1947年（昭和22年）、宗道臣（創始者、1911～1980）によって、人づくりによる国づくりを目的に、香川県多度津町の地で創始されました。自信と勇気と慈悲心を持って行動できる人を一人でも多く育て、何かの時にはお互いが助け合える国づくりを目指したのです。そのための人づくりの手段として、少林寺拳法は誕生しました。背景には、「己のない人間」と「己しかない人間」の多い、荒廃した日本の現状がありました。

この少林寺拳法の特徴は、人を傷つけることなく、互いを認め合いながらともに上達を図れる「護身の技術」と、「半ばは他人の幸せを」に代表される「調和の教え」、その教えと技法との一致、そして人づくりのために張りめぐらされた「教育システム」にあります。修練として行われる演武の見どころは、その「烈しさ」と「美しさ」、「二人の調和」にあると言えます。

真の幸せとは何かを、今こそ問われなければならない現代社会において、私たち少林寺拳法グループは、自分の中の可能性に自信を見出し、それを勇気、行動へとつなげ続ける自己変革の道を通して、人や社会に貢献できる喜びを知っている人づくりに、日々取り組んでいます。

この度、2018年10月27日（土）・28日（日）、群馬県高崎市「高崎アリーナ」にて、北関東では初めての全国大会「2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま」を開催いたします。大会テーマは「群翔 ～共に生き 共に踏み出そう～」といたしました。物心ともに豊かで平和な社会実現に向けて、一緒にさらなる一步を踏み出したいとの願いからです。大会を主管いたします群馬県少林寺拳法連盟の身の丈に合った全国大会を、関東地区（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・関東実業団・関東学生連盟・関東高体連専門部・関東学生OB会連合・関東学生OB同友会）の皆さんの力をお借りして、全力で成し遂げる所存です。

つきましては、平素より少林寺拳法にご厚情をいただいております皆様方に、本大会の趣旨をご理解いただき、物心両面にわたるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合 掌

2017年10月 吉日

2018年少林寺拳法全国大会 in ぐんま

大会会長 小 淵 優 子

大会実行委員長 江 原 謙 治

